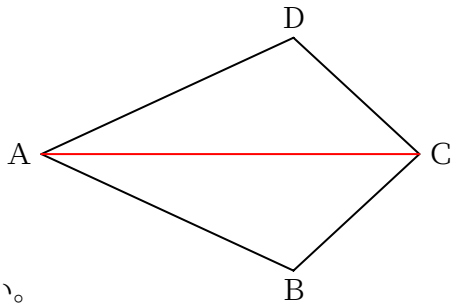
４章(平行と合同)　２節(図形の合同)

５．三角形の合同条件の使い方

年　　組　　番

名前

１．右の図の四角形ＡＢＣＤで，ＡＢ＝ＡＤ，ＣＢ＝ＣＤであるとき，∠Ｂ＝∠Ｄであることを説明したい。次の問いに答えなさい。



①　∠Ｂ＝∠Ｄであることをいうためには，どの２つの三角形が合同であるといえればよいか。

△ＡＢＣと△ＡＤＣ

②　①の２つの三角形で，等しいといえる辺や角を答えなさい。

ＡＢ＝ＡＤ，ＣＢ＝ＣＤ，ＡＣ＝ＡＣ

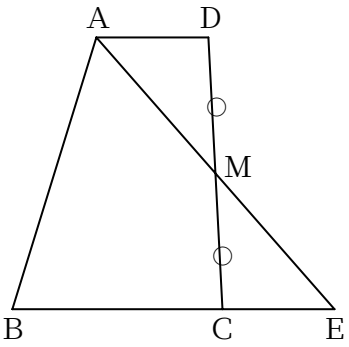
③　②から，成り立つ三角形の合同条件を答えなさい。

３組の辺がそれぞれ等しい。

④　①の２つの三角形が合同であるとき，∠Ｂ＝∠Ｄがいえる理由を答えなさい。

合同な図形の対応する角だから。

２．右の図は，ＡＤ//ＢＣである台形の辺ＣＤの中点をＭとし，ＡＭの延長と辺ＢＣの延長の交点をＥとしたものである。このとき，ＡＭ＝ＥＭであることを説明したい。次の問いに答えなさい。



①　ＡＭ＝ＥＭであることをいうためには，どの２つの三角形が合同であるといえればよいか。

△ＡＭＤと△ＥＭＣ

②　①の２つの三角形で，等しいといえる辺や角を答えなさい。

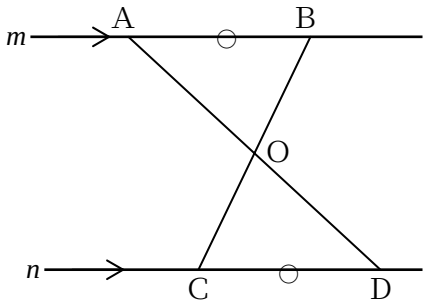
ＤＭ＝ＣＭ，∠ＡＤＭ＝∠ＥＣＭ，∠ＡＭＤ＝∠ＥＭＣ

（∠ＭＡＤ＝∠ＭＥＣ）

③　②から，成り立つ三角形の合同条件を答えなさい。

１組の辺とその両端の角がそれぞれ等しい。

３．右の図で，m // n，ＡＢ＝ＤＣ，ＡＤとＢＣとの交点をＯとするとき，ＯＡ＝ＯＤであることを説明したい。次の問いに答えなさい。



①　ＡＭ＝ＥＭであることをいうためには，どの２つの三角形が合同であるといえればよいか。

△ＡＯＢと△ＤＯＣ

②　①の２つの三角形で，等しいといえる辺や角を答えなさい。

ＡＢ＝ＤＣ，∠ＡＢＯ＝∠ＤＣＯ，∠ＯＡＢ＝∠ＯＤＣ

（∠ＡＯＢ＝∠ＤＯＣ）

③　②から，成り立つ三角形の合同条件を答えなさい。

１組の辺とその両端の角がそれぞれ等しい。